

**進んでみんなのために働く態度を
育てる道徳指導の工夫**
—地域のために働く人の思いや行動に触れて—

ねらい 消防団員の話を活用した道徳の授業でボランティア精神を喚起する

	教師の支援	児童の活動の様子	日常的な取組
ステップ1 総合的な学習の時間	◎地域で活躍する消防団の方を招いてのインタビュー活動を取り入れる。 ・インタビュー録画 ・事前打ち合わせ	◎地域のために進んで働く消防団の方に親しみと尊敬の気持ちを抱く。 ・地域のために消火活動をしてきている。 ・私たちのためにいろいろな活動をしてきている。	日々の呼びかけ、帰りの会での評価・賞賛
ステップ2 道徳	◎消防団の方のボランティア精神について考える活動と、自身の生活を振り返り努力点を考える活動を取り入れる。 ・インタビュー映像編集 ・付箋紙を用いた話合い（KJ法） ・ビデオメッセージ	◎人のために働くことの素晴らしさに気付き、行動に移そうとする意欲をもつ。 ・人のために働くと相手が喜んでくれてうれしい。 ・ボランティア活動をすると自分も気持ちいい。 ・給食当番の手伝いを進んでやりたい。 ・落ちているゴミを拾っていこう。	
ステップ3 学級活動	◎身近なボランティア活動である学校周辺のゴミ拾い活動を取り入れる。 ・ふりかえりシートを活用した変容の検証	◎人のために働くことの素晴らしさを実感し、習慣化していく。 ・がんばってきれいにでき気持ちいい。 ・いいことをして気持ちよかった。 ・これからもやっていきたい。	

児童の変容



- ・人に言われなくても行動に移せることが多くなったよ！
- ・時間がかかっていた給食準備が協力的になり速くなったよ！
- ・友だちの手伝いが多く見られるようになったよ！
- ・教室のゴミ拾いを抵抗なくできるようになったよ！